

整骨 “夢” おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌
<https://www.seikotsu-oita.jp/>

第15号
 Mar. 2024



✔ 柔道整復師とは

昔から「ほねつぎ」「接骨師」として広く知られ、現在は高校卒業後、厚生労働省の許可した専門の養成施設（三年間以上修学）か文部科学省の指定した四年制大学で解剖学、生理学、運動学、病理学、衛生学、公衆衛生学などの基礎系科目と柔道整復理論、柔道整復実技、関係法規、外科学、リハビリテーション学などの臨床系専門科目を履修します。

国家試験を受け、合格すると厚生労働大臣免許の柔道整復師となります。資格取得後は、臨床研修を行い、「整骨院」や「接骨院」という施術所を開業できます。また、勤務柔道整復師として病院や整骨院などで働くこともできます。

柔道整復師（国家資格）≠ 整体師、カイロプラクティック師（国家資格ではありません）
 柔道整復師（国家資格）≠ あん摩・マッサージ・指圧師（国家資格）

✔ 柔道整復師の業務

整骨院や接骨院では、柔道整復師によって、骨・関節・筋・腱・靭帯などに加わる急性、亜急性の原因によって発生する骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷などの損傷に対し、手術をしない「非観血的療法」によって、整復・固定などを行い、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させる治療を行っています。





柔道整復師とは

柔道整復師は、日本の国家資格で骨折、脱臼、捻挫、打撲、肉離れの施術が出来るだけでなく、機能訓練指導員として運動器の機能回復をさせるためにさまざまな手技療法や運動療法を用いて、患者のケガや健康回復を支援します。

柔道整復師は、個人開業、デイサービス開業、病院、リハビリテーション施設、福祉施設、スポーツクラブ、教育現場など、さまざまな場所で活動することができます。

柔道整復師が行う施術を「柔道整復術」と言い、業務として行えるのは、医師と柔道整復師に限られています。



柔道整復師になるには

現在は高等学校卒業後、都道府県知事の指定した柔道整復師養成施設で3年以上、または文部科学省の指定した学校で、柔道整復理論、解剖学、生理学、運動学、整形外科学などを学び、国家試験に合格すると厚生労働大臣から柔道整復師の免許が交付されます。

求められる柔道整復師業

地域社会への貢献

柔道整復師は、「けがや痛みの治療とリハビリテーション」、「健康促進と予防活動の支援」、「地域のスポーツイベントでの救護活動」等、地域社会の健康と福祉に寄与し、地域全体の生活の質を向上させる役割を果たしています。

「別府大分毎日マラソン救護」
「行橋～別府100キロウォーク救護」



スポーツトレーナー

柔道整復師は医学的な知識とスキルを持ち、「ケガ予防とリハビリテーション」、「パフォーマンス向上のサポート」、「緊急時の応急処置と医療管理」等、アスリートの安全と健康管理に貢献し、重要な役割を果たしています。

「ラグビーワールドカップ2019
NZ代表コンディショニング」
「大分国体でのコンディショニング」



災害時の救護

柔道整復師は災害時においても救護活動に積極的に参加します。「傷病者の応急処置」、「治療とリハビリテーション」、「心理的なサポート」、「緊急災害医療チームへの参加」等、ケガや痛みを負った人々の救護とケアにおいて重要な役割を果たします。迅速な対応と適切な技術を活かし、傷病者の安全と回復をサポートしています。

「熊本地震被災者コンディショニング」
「日田豪雨災害被災者コンディショニング」



福祉・介護

柔道整復師は、他の医療関係者や介護職と連携して「健康管理と予防」、「日常生活の支援」、「心理的なサポート」等の役割を担い、患者の福祉と介護に貢献し、健康な生活や機能の回復をサポートしています。



柔道整復師の活躍の場



接骨院勤務

多くの柔道整復師は、国家資格取得後に接骨院に勤務します。経験を積み次の段階へステップアップするために最も有効な手段です。



独立開業

多くの柔道整復師が目指す独立開業ですが、経営や保険の仕組み、集客の方法など様々な知識やノウハウが必要です。



福祉・介護施設

高齢者施設やリハビリが必要な医療の現場でも、身体の仕組みを熟知している柔道整復師のニーズが高まっています。



スポーツジム・クラブ

スポーツトレーナーの多くは柔道整復師の資格を持っており、プロスポーツチームやアスリート、ジムでの指導等で活躍しています。



大学・専門学校教員

社会のニーズの増加と共に教育機関で指導する教員への期待も高まっており、柔道整復の学科を有する大学での採用も増えています。

幅広い活動を可能にするために

他の機関、柔道整復師との連携(組織力)

新技術・情報の共有(学術的研究や超音波観察装置など)

電子請求システム構築への取り組み

伝統技術の継承(骨折・脱臼の整復固定技術)

ボランティア意識が必要(地域の災害救護やスポーツイベントでの救護活動における柔道整復師の役割の理解)

保険制度の知識(受領委任協定)

全国ネットワークへの参加

オンライン資格確認システムの構築

SNS・ITに関する知識取得

● 保険の適用(受領委任協定)について

接骨院や整骨院での施術には、医療保険や生活保護法による医療扶助、労災保険が適用されます。

保険適用については「償還払い」と「受領委任払い」がありますが、患者が施術料の全額を柔道整復師に支払い、その後、保険者に申請して負担分の払い戻しを受ける「償還払い」では時間的、経済的にも患者に負担をかけることになります。

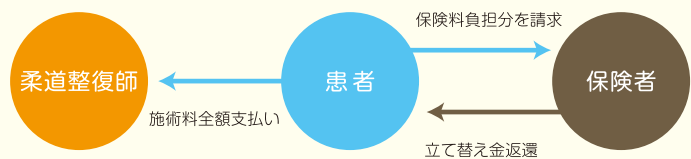
一方「受領委任払い」の場合は病院等の医療機関の保険と同様に一定の負担額で施術を受けられ、患者の負担も軽くなります。

これらの保険が適用される範囲は、外傷性が明らかな原因のケガに対する施術です。応急手当を除く「骨折」「脱臼」の施術を行う場合は、医師の同意が必要になります。打撲、捻挫、挫傷などの施術については医師の同意は必要ありません。

償還払い

患者が施術料の全額を柔道整復師に支払い、その後保険者に申請して負担分の払い戻しを受けます。

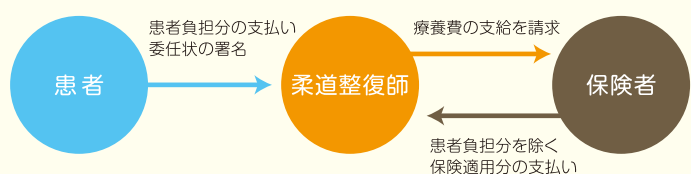
経済的、あるいは手続きにかかる時間など患者にかかる負担がかかり、施術をためらうきっかけにもなり得ます。



受領委任払い

多くの接骨院・整骨院で行われているやり方で、患者は一定の負担分だけを支払い、施術者が患者の委任を受けて保険者負担分の請求を行います。

「受領委任払い」は、患者の経済的な負担や事務的な労力を軽減する目的で設けられた制度と言えます。



※委任については「柔道整復施術療養費支給申請書」いわゆる柔整レセプト用紙に、患者さんから月ごとに署名を頂く方法です。

会長挨拶

令和5年度もいよいよ終盤になりました。各位には常日頃より公益社団法人大分県柔道整復師会の事業並びに運営に関して温かいご理解とご協力を受け賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが5類感染症となり行動制限を伴わない社会活動が再開し県内の観光地等は4年ぶりに賑わっております。その一方で令和6年辰年の始まりは能登半島地震、航空機の接触事故、小倉北区の火災と波乱の幕開けとなりました。今後はどうか平穏でありますようにと願っております。今回の災害や事故に関連してお亡くなりになった皆様には心より哀悼の意を表します。被災された皆様には長期の支援が必要となると思います。大分県柔道整復師会としても国や県の指示を仰ぎながら、共に被災者の為に最大限の協力してまいります。

さて今年度の本会の主な事業として定時総会・臨時総会・大分県整骨旗争奪少年柔道大会・文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会・接骨医学会・日本社会医療学会、「日整・匠の技」事業、大分県学術部主催の春、夏、秋の学術研修会、「公益大分若手塾」、別大マラソン等の救護、ボランティア活動、コンディショニング活動等の事業を遂行してまいりました。感染が拡大減少を繰り返し、インフルエンザ感染症の蔓延等で各事業の運営も困難を極めました。理事会を中心に今年度の事業を無事に終える事ができました。今後も上記事業以外にも大規模自然災害等の対応に備えつつ大分県、各市町村と連携を取りながら問題に取り組んでいきたいと思っております。また令和6年秋の保険証廃止にあたり令和6年4月以降、国は資格確認の方法に「オンライン資格確認」を位置付けし同年秋以降、導入の義務化となります。業界にはその先の「オンライン請求」も控えており柔道整復師の請求システムに大きな変化が起ころうとしています。ペーパーレス等の社会のデジタル化、DX化に向けた大きな流れの中で本会もしっかりとその流れに乗り国民の医療、福祉、健康に貢献していく事が望まれていると思っております。最後に、来年度も柔道整復師業界の環境は、大変に厳しいであろうと想像いたしますが今後、社会情勢がどんなに変化しようとも本会は、必ず未来に続く人達の役に立つように努め、本会会員が明るい未来への展望を持ち続け大分県民、市民、地域社会、地域医療にしっかりと貢献できるように公益事業を進めていきたいと思っております。今後とも関係各位には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



会長 江崎 博明

【役員】

顧問	加藤 和信
会長	江崎 博明
副会長	野田 光広 (総務・経理部長)
	安東 鉄男 (事業部長)
	首藤 彰典 (保険部長)
理事	高橋 祥三 (福祉・生涯学習部長)
	尾林 大生 (広報・総務副部長)
	加藤 豪 (学術教育・保険副部長)
監事	阿部 幸広 (教育部長)
	永 竿 茂 男



執行部

【委員会】

(学術IT委員)

委員長	尾林 大生
副委員長	江崎 仁介
	笠木 和久
	安東 亮
	梅崎 孝次
	北山 凌大
	森 一馬
	後藤 史裕

(柔道委員)

委員長	永 竿 茂 男
	森 政彦
	重石 雄大
	加藤 豪
	森 一馬

令和5年度定時総会開催

令和5年5月21日(日)大分県整骨会館2Fにて、令和5年度定時総会が議決会員数174名に対し、出席165名(委任状105名・欠席9名)のもとZOOM配信を伴うハイブリッド方式で、加藤豪理事の司会で開催した。

会長挨拶・会務報告後、連盟総会が行われ議長は江崎博明委員長、議事録署名人に森一馬・笠木和久会員を指名のもと、野田光広副委員長による事業、決算報告、加藤和信監事による監査報告後、全4議題が審議され無事承認。

次に定時総会が行われ、物故者黙祷、新入会員紹介後、議長に安東鉄男会員、副議長に首藤彰典会員選出後、前川羊介・高橋祥三理事による事業報告、野田光広・尾林大生理事による決算予算報告、阿部幸広監事による監査報告後、全9議題が審議され無事承認された。

続いて協同組合11回通常総会が高橋祥三理事による司会で行なわれ、永竿茂男監事の監査報告後、全議題無事承認された。

今年は役員改選があり、前川羊介理事が退任され、他の理事・監事は再任、江崎博明会長執行部は3期目となる。



新執行役員



整骨会館にて会場風景



参加会員

令和5年度臨時総会

令和5年11月26日(日)10:00よりトキ八会館にて令和5年度臨時総会を議決会員数176名に対し、出席168名(委任状103名・欠席8名)参加のもと、ZOOM配信によるハイブリッド方式で開催。物故者黙祷、新入会員紹介後、議長に安東鉄男会員、副議長に首藤彰典会員、議事録署名人に北山凌大・江田全秀会員を選出し、全2議題を慎重審議し無事終了。

その後、政治講演会・懇親会が行われた。

【表彰会員並びに表彰披露】

- ① 県功労者表彰 …………… 野田光広会員
- ② JIMTEF災害医療研修ベーシックコース修了 …………… 尾林大生会員
- ③ 匠の技伝承プロジェクト指導者養成講習会受講 …………… 加藤豪、尾林大生会員



匠の技指導者認定
尾林大生 加藤豪 会員



県知事表彰
野田光広会員



参加全員

令和5年度夏季学術公開セミナー開催

学術教育部長 加藤 豪

令和5年6月11日(日)大分県整骨会館 2F柔道場・研修室にて、夏季学術公開セミナーを開催した。コロナウイルス感染症により開催が行えなかった日本赤十字社様による救急救命講習と独立行政法人スポーツ振興センターから講師を招聘し講習会を行った。

対面実技の救急救命講習会は災害医療等の観点から重要性が高く、会員先生方で大いに賑わい、スポーツ振興センター講習会では活発な議論や質問がなされていた。



参加会員



日本赤十字社様



赤十字救急法講習風景

令和5年度 新春学術論文発表・保険講習会

学術教育部長 加藤 豪

令和6年1月14日(日)大分県整骨会館 2Fにて、新春学術論文発表・保険講習会を御来賓に佐賀県柔道整復師会の平野弘道会長を迎え開催した。河合竜之介、笠木和久、梅崎孝次、安東亮の4名の会員が一年間学術研鑽の成果を発表された。保険部首藤彰典保険部長よりオンライン資格確認についての講習があり会員先生方も熱心に聴講し活発な質疑もあった。終了後に学術IT委員会により論文選考会が行われ笠木和久会員と梅崎幸次会員の論文を九州学術大会に出稿、新年を迎えての有意義な研修会となった。



会場風景



安東会員・河合会員・会長・梅崎会員・笠木会員



御来賓で佐賀県平野弘道会長

公益社団法人 日本柔道整復師会 第50回 九州学術大会福岡大会

学術教育部長 加藤 豪

令和5年8月26日(土)・27日(日)ホテルニューオータニ博多にて、公益社団法人日本柔道整復師会第50回九州学術大会福岡大会が盛大に開催された。

九州論文審査会で優秀な成績を取めた本会の永竿茂男会員、江崎仁介会員による論文発表が行われ、両名ともに脱臼と骨折をテーマにした論文であり外傷損傷に対する熱意と1年間の長きに渡り学術と技術の努力と研鑽が十分に伝わる発表で大変立派であった。

『来年度は佐賀県にて令和6年6月29日・30日の日程で九州学術大会佐賀大会が開催されます。多くの会員先生方のご参加をお願いするとともに、柔整evidence構築へのご協力もお願い申し上げます。』



参加会員



永竿茂男会員



江崎仁介会員

令和5年度公益大分若手塾開催報告

学術教育部長 加藤 豪

- ①令和5年4月1日(出)17:00 大分県整骨会館 2F 研修室
講話 『業務指導』 講師 江崎 博明 会長
演題 『目標と指針』 講師 加藤 豪 理事
- ②令和5年7月22日(出)18:00 大分県整骨会館 2F 研修室
演題 『論文作成についての意義と方法』 講師 尾林 大生 理事
- ③令和5年9月9日(出)18:00 大分県整骨会館 2F 研修室
酒井医療(株)物療器講習会 講師 加藤 豪 理事



加藤豪学術教育部長

上記日程で公益大分若手塾を開催した。今年度で3年度目を迎え参加会員も増え、公益とは何かを学び利他の精神で地域社会の健康増進に寄与できる人を育てる会となりつつある。学術だけでなく倫理・道徳を構築する事により施術所に反映され多くの若手会員の意識改革となり、施術所運営にも効果が出てきている。

「来年度も年度3回の開催を予定しています、多数の参加を宜しくお待ちしております。」



研修風景



参加会員



参加会員による記念撮影

匠の技伝承プロジェクト指導者養成講座

令和5年8月20日(日)日整会館にて、匠の技伝承プロジェクト指導者養成講座が行われた。匠の技伝承プロジェクトとは、『柔道整復術公認100年記念』の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置(エコー)実技研修を各地域で行い、接骨院に行けばいつでもどこでも同じ施術が行えるように、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目指し行われている。匠の技伝承プロジェクト指導者養成講座に加藤学術教育部長、尾林学術IT委員長が検定を受けた。

来年度からは大分県での講習の実施が決定している。日整基準の匠の技をしっかりと伝えていき、すべての会員が骨折脱臼において平準の技能知識を有するよう、研鑽を重ねていきたい。



尾林理事 長尾日整会長 加藤理事



外果骨折の超音波観察をする尾林理事



外果骨折の固定をする加藤理事

第16回JIMTEF災害医療研修を受講して

理事 尾林 大生

これからの柔整業界の最優先事項は柔道整復師が何をできるのかを明確にしていくことだと長尾日整会長もおっしゃっていました。それは医療業界・行政機関そして我が業界である柔整師全般においてでもです。

特に、医行接の情報の共有が災害時では一番重要になってくると思います。災害時その連携の中心を担うのがDMAT(災害派遣医療チーム)です。そのチームの一員として日整ではDJATとして含まれ、北海道胆振東部地震やトルコ地震に派遣を行っています。

JIMTEF災害医療研修では災害医療の概論からDMATによる各災害の各分野の動きや問題点、コロナ禍での医療対応、スフィアプロジェクトと呼ばれる人権に関することなどを学びます。ベーシックコースではWeb上で学べるlearning BOXというアプリを使って行います。テキスト(PDF)・動画(30~80分)・試験(100点を取れば次の単元に進みます)・質問・アンケートを20単位とれば認定されます。私の場合はおよそ35時間程度の学習で取れました。

これからの時代は南海トラフも含め、災害では我々柔整師の活躍する場も増えてきます。しっかりと知識を蓄え被災者に寄り添い柔道整復師の存在感を明らかにするためにJIMTEF災害医療研修を受けることをお勧めします。



修了証書



受講画面

日本社会医療学会第24回学術大会

副会長 野田 光広

令和5年10月28日(土)・29日(日)延岡市九州保健福祉大学にて、日本社会医療学会第24回学術大会が「コロナ等感染症と共存する医療と福祉」を大会テーマとし開催され本会員も参加。

開会式は江崎博明会長の挨拶で始まり、柔整専門部会では、宮崎、熊本、鹿児島、大分各県役員が出席、コロナ感染症が5類に移行してからの、業界の現状また諸行事の開催状況並びに留意点など報告、その後意見交換を行った。

【本会参加者】加藤和信顧問 江崎博明会長 野田光広・首藤彰典副会長 加藤豪理事



開会の言葉 江崎博明会長



参加会員



柔整専門部会

会館清掃

大分市 梅崎 孝次

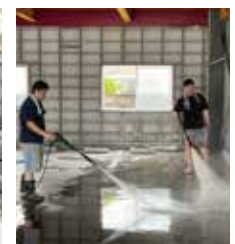
7月23日(日)整骨会館にて大清掃を行いました。1年でこんなにも汚れているものかと呆然としましたが、気合をいれてきれいにしていくと心も洗われました。会館も少しずつ手入れを行い、今期は新しい道場にて総会も行われました。先輩が残してくれた本会のものは大事に使って整理整頓をして感謝の心で後始末を行いましょう。



野田光広先生



江崎博明会長



江崎仁介先生・後藤祐輔先生

第32回 日本柔道整復接骨医学会 名古屋大会

学術教育部長 加藤 豪

令和5年12月2日(土)・3日(日)名城大学天白キャンパス共通講義棟東にて、第32回日本柔道整復接骨医学会名古屋大会が盛大に開催され、本会から土曜日に永竿茂男会員が日曜日に江崎仁介会員が発表となった。

脱臼・骨折の発表会場は満席で立ち見が出るほどの盛況ぶり、その中で両名の立派な発表を目にすることができた。例年とは違う変化を感じ柔道整復に関わる人々の外傷への向上心や意識の変化が垣間見え、脱臼・骨折の会場が満席・立ち見というその光景がそれを表していたのではないかと感じた。

各大学・学園等の養成機関からは骨折・脱臼の外傷損傷論文発表が数多く、その他に法や倫理的な分野の論文や教育シンポジウムも散見でき、柔道整復が持続可能な業種へ成り立つ希望も感じた。

最後に日本柔道整復接骨医学会への会員登録等がまだお済でない会員先生がおられましたら本会事務局へご連絡を、学会等への参加により会員先生方の学術・技術の向上に必ず繋がることだと思う。

永竿茂男会員の感想 「肘関節後方脱臼における異所性骨化発症の一症例」を発表してまいりました。本会入会してから23年目ですが、自身の論文作成、発表という機会を初めて頂き感謝を申し上げます。

日常での外傷の取り扱いの中で、柔道整復師が扱えない異所性骨化が発症してしまう例が一定数あるので留意して施術にあたってほしいという注意喚起の目的で執筆させて頂きました。

今回の論文発表にあたり、現在の日本の柔道整復学術論文の想像以上のレベルの高さを目の当たりにし、施術に関する記録や研究、考察、医接連携の大切さ等を文章化、論文化することの難しさを改めて実感しました。大変価値のある貴重な経験をさせて頂きました。

今回全国から集まる数多くの論文の中で骨折を扱ったカテゴリーは39編で、それに対し脱臼のカテゴリーは4編しかなく、しかも肘関節脱臼を扱ったものは私の論文1編のみでした。全国的にも脱臼を取り扱う例がかなり減少しているのではないかと考えられます。骨折や脱臼も整骨院のメインの業務です。「骨折、脱臼なら整骨院や接骨院に」という伝統を守り抜いていかなければと今回の論文で再認識し、今後の課題と致しました。これからも常にその意識を持ちながら日々の施術に励みたいと思います。ありがとうございました。



参加会員



永竿茂男会員 江崎仁介会員



会場風景

第72回別府大分毎日マラソン救護協力

山下 知佳 会員

令和6年2月4日(日)曇天の中第72回別府大分毎日マラソンが開催されました。歴史ある国際大会に参加させていただいて毎年テレビで別大マラソンを見ていた私からするとすごく光栄なことでした。

メディカルスタッフとして10名が派遣され、看護師を目指す学生と共にペアを組みランナーの救護を行いました。事前研修の際、医師の方より柔道整復師に対してお褒めの言葉をいただいております。期待に答えられるよう救護に当たりました。本会の救護参加は5回目ということで毎年の反省点をブラッシュアップしゴール後座り込みを防ぎ歩いてもらうことを徹底し、筋の痙攣や過緊張を軽減させ負傷者を減らしました。雨の影響で冷え込み低体温症になるランナーも多く、天候・温度等も注意が必要でした。

ランナーがゴールするまでの時間に、即実践できる施術をご指導いただき、早速接骨院でさせていただきます。

救護に来て帰っていかれるランナーの方が「来年はお世話にならないように練習して来ます。」と天気とは裏腹な良い笑顔で帰っていく姿に、私も一年間しっかりと学びまた来年発揮できるよう尽力していきたいと感じました。ありがとうございました。



大分市 山下知佳



救護風景



参加会員



大会風景

肘関節後方脱臼における異所性骨化発症の一症例

宇佐市 永竿 茂男

本論文はヘルシンキ宣言に則った研究であり、開示すべきCOI関係に当たる企業等はない。



I.はじめに

肘関節脱臼はスポーツ現場等で多く発生するもので肩関節脱臼に続き頻度の高い外傷である。しかし近年、柔道整復師施術所に来院する骨折や脱臼等の患者は減少しており遭遇する機会も少ないのが現状である。また臨床では肘関節外傷後に患部周囲に異所性骨化が生じる例があることは広く知られている。

「異所性骨化は本来骨組織が存在しない部位に骨組織が形成される病態で、その原因と機序は不明である」(大谷ら,2020,P229)と記述されており、常に予見し留意しながら施術にあたらなければならない。今回、施術を担当した肘関節後方脱臼患者に固定除去後、異所性骨化発症の経験をしたのでこれを報告する。

II.目的

当施術所に来院した肘関節後方脱臼の患者で、異所性骨化を医師に示唆された本症例を文献的考察と私的考察を加え報告する。

III.症例

対象

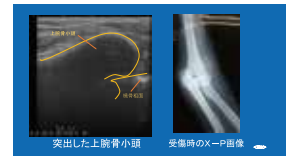
14才女子、令和4年10月24日、中学校の体育館にて合唱の練習中、合唱台から足を踏み外し、床に転落した際、強く手をつき肘関節を脱臼する。歩行も困難になるほどの激痛で保護者に付き添われ来院する。

所見

来院時、患部の激痛を訴え肘関節自動運動不能で弾発性固定及び高度な腫脹を認める。外観は肘関節後方脱臼の典型的様相を示し、Huter線は肘頭高位を認める。橈骨、尺骨、正中神経の損傷及び上腕動脈損傷の有無をそれぞれ検査し正常を確認する。また超音波観察装置にて骨損傷を確認するも、骨折の特有画像は描出されなかった為、単独の肘関節後方脱臼と判断した。<図1><図2>



<図1>



<図2>

疼痛が著しく整復時に患者が失神するおそれがある為、整形外科医院に紹介するも、同じ見解により入院施設のある救急病院を紹介して頂く。しかし紹介先の担当医師が不在であった為受診できず、本人と家族に長時間脱臼状態を放置する危険性を説明し、当施術所で整復等の応急処置を行う事となった。

徒手整復

疼痛と腫脹が著しく軟部組織の損傷が甚大と判断し、また精神的、身体的な負担が大きいため、座位での整復法は取りやめ、患者仰臥位での整復法に変更した。今回は助手がなく対抗牽引の代わりに術者の足を使用する独自の工夫を加え1人整復法とした。



<図3>



<図4>

患側の脇にタオルをあて術者の足底で腋窩及び肩甲骨を固定して行った。患側前腕を把持し対側の手で後方に突出した肘頭を指で押さえ脱臼肢位の角度のまま愛護的に前腕を徐々に長軸方向へ数秒間持続牽引する。

整復完了後、軟部組織に負荷がかからないように多動的に肘関節を屈伸、前腕を回内、回外させこれを数回行う。患者にも自動運動を促し関節機能が回復したことを確認させた。<図3><図4>



<図5>

固定

疼痛と腫脹で肘関節直角位が不可のため、患部に持続的な負荷がかからないよう約100°に曲げたクラーメル副子で鈍角位に包帯固定し三角巾で提肘する。<図5>

経過

翌日、肘関節内側部に出血性の腫脹、側方動揺を認めるため、超音波観察装置を使用する。靭帯部分に損傷の可能性があり、再度医科に対診を依頼した。<図6>



<図6>

MRI検査で靭帯損傷が認められ観血的療法を勧められるも、本人と保護者が保存療法を強く希望した為、医師との協議で保存療法を選択する。

3週間後、固定除去し後療を開始する。腫脹と浮腫軽減の目的でマイクロカレント波、温熱療法と愛護的な軽擦法を施す。皮下溢血及び腫脹徐々に減少し症状改善に向かう。<図7>

受傷から5週間後、対診した医科で微小な異所性骨化出現を認め日常生活以外は安静にするように指導があった為、当院での施術は中止し、発生した骨化を助長させないよう過度の運動禁止や再負傷予防の注意点等を患家に説明後、自宅安静療養に変更する。

IV. 結果

記録を目的として患者に定期的に来院して頂き経過観察した結果、受傷から6週間後には肘関節屈曲は90°を超す。数日後の医科検査での異所性骨化の進行度合いは著しく変化はなかったものの症状は軽減しており、7週間後には日常生活に支障はなくなり、10週間後には左右の肘関節屈曲時の角度差は10°以内に留まる。12週間後に当施術所で状態を確認したところ疼痛は消失し、外観及び可動域も正常に回復していた。<図8><図9>

V. 考察

「異所性骨化の明らかな原因は不明で、脳損傷や脊髄損傷後の麻痺四肢の組織内の低酸素状態、関節の拘縮、リハビリによる関節周囲の出血による血腫形成が誘因の可能性といわれている」(橋本ら,2010,P157)との記述から、本症例では靭帯損傷の血腫による腫脹増大が異所性骨化を招いたのではないかと推測できた。

今回、超音波観察装置で靭帯損傷と出血を描出し、また医科ではX-P検査により骨化の存在を早期に示された事が、機能障害を残さず順調な回復に繋がったといえる。更に、処置内容を工夫し内側の血腫部位を回避し外側から固定した事や、副子の角度を鈍角に調整した事も骨化の進行を最小限に留めた要因であると考えられる。

また「肘関節周囲に発生する異所性骨化は肘関節周囲骨折の10~30%に認め、股関節に次いで2番目に発生頻度の高い関節であり」(大谷ら,2020,P233)更に「肘関節周囲に発生する異所性骨化は可動域制限や疼痛をきたしADL障害の原因となる。最も発生頻度の多い後内側に骨化が形成された場合には強直をきたしやすといわれており、後内側に発生する場合にはしばしば尺骨神経麻痺を来す」(大谷ら,2020,P233)とある。<図10>今回強直や神経症状等はなかったが、今後骨化由来の神経麻痺等の対応も含めて視野に入れていかなければならない。

柔道整復師施術所での超音波観察装置使用は、現状柔道整復の領域で持ち得るScience,Evidenceとなり、その必要性の再認識もできた。また施術過誤等を防ぎ患者の受益観点からも有効な手段だと考える。

医接連携は不可欠であり、柔道整復の利点を理解してもらい良き連携を取りながら、今回のような骨化を招いた傷病でも、より有効な方法が今後発見出来るよう日々研鑽していきたい。

VI. 結語

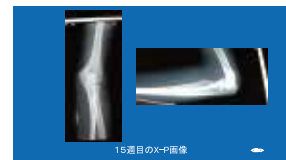
1. 肘関節後方脱臼で異所性骨化をきたす場合があり、医科と連携をとり慎重に施術を進めていくことが重要である。
2. 肘関節後方脱臼での愛護的な一人整復や、血腫及び腫脹が甚大な場合でも固定を工夫することで骨化を最小限に留める事ができた。
3. 超音波観察装置を柔道整復師施術所で骨折、脱臼等の観察に積極的に使用し、その実績を重ねていくことが柔道整復師にとって今後の重要な課題である。



<図7>



<図8>



<図9>



<図10>

左橈骨遠位端部骨端線離開屈曲型において厚紙副子4点固定を行った研究考察

中津市 江崎 仁介

本論文はヘルシンキ宣言に則った研究であり、開示すべきCOI関係に当たる企業等はない。



I. はじめに

本論文はヘルシンキ宣言に則った研究であり、開示すべき利益相反関係に当たる企業等はない。臨床現場において橈骨遠位端部を損傷するものは多々遭遇するものであり、転倒して手を突いて受傷したものが多くを占める。骨折では伸展型(colles骨折)が多くなり、屈曲型(smith骨折)と呼ばれるものは比較的まれであるとされている。年齢を問わず発生し、外力が小さく関節部付近の症例では若木骨折や骨端線離開を呈するものがあり捻挫と誤認してしまう事も珍しくない(全国柔道整復学校協会,2011)。<図1>骨端線離開ではソルターハリス分類という5つのタイプからなる分類分けがされており、タイプⅠ、Ⅱ、において予後は比較的良好とされており保存療法を選択することが多い。タイプⅢ以上では成長障害を起こす可能性がある為、注意が必要であり観血療法の適応となる場合もある(松下ら,2011)。鑑別方法としては患部の限局性圧痛を認めた場合、超音波画像観察による評価や医師によるXP画像診断が有効である。

II. 目的

今回、左橈骨遠位部骨端線離開屈曲型の症例をヘルシンキ宣言に基づき患者へ本研究に対する説明を行い、同意を得た後、超音波観察による画像やXP画像、患部の画像などを記録した。先行研究では橈骨遠位端部骨端線離開において厚紙副子を4枚使用した研究報告は見当たらず、独自に考案した固定法により良好な経過を得たので報告する。



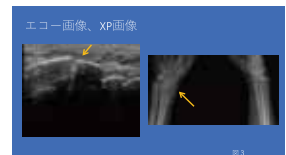
<図1>

III. 対象<図2>

16歳男性。令和4年1月14日、柔道練習中、バランスを崩されて払い腰をかけられた際に受け身をとることが出来ず手背を突き受傷し、当日に部活動顧問と来院した。初検では左橈骨遠位部の変形が認められ疼痛が激しく腫脹も見られた。神経症状は確認できず皮下出血斑も見られなかった。<図3>超音波画像では橈骨遠位端部に骨端線損傷の疑いがあり、整復後当日に病院にてXP検査を行った所、医師により左橈骨遠位端部の骨端線離開と診断された。骨端線離開の損傷を分類したソルターハリスの分類ではタイプⅠであった。タイプⅠでは予後は良好であるとされているので本人及び保護者に説明をして当院で施術を行うこととなった。



<図2>



<図3>

IV. 方法<図4>

本症例では転位が大きく徒手整復を行った。患者を座位にさせ、助手に近位骨片を把持させ、術者は遠位骨片の背側に両拇指を当て掌側に他の指を当て把持し、強く末梢方向に牽引しながら手関節を屈曲させ遠位骨片を掌側から背側方向に整復した。整復の際に橈骨動脈や橈骨神経、正中神経、尺骨神経の損傷に注意しなければならない。患者の筋肉量が多く、一度の整復では十分な整復位が得られなかったため仰臥位と座位で2度整復を行ない、十分な整復位を得た。整復されたことを確認後、当院で独自に考案した固定を行った。患部に冷湿布を貼付。オルテックスを巻いた後、綿花と厚紙副子で患部を背側、掌側、橈側、尺側の4方向から挟み、包帯を紐状により合わせたものを使用し厚紙副子で患部を固定し三角巾で提肘した。<図5>本症例では4方向から固定を行ったが、これはギプス固定、簾副子を使用した固定の注意点である急性期の急激な腫脹の増悪によるコンパートメント症候群を、全周を覆わないことでクリアランスを保つことによりコンパートメント症候群のリスクを下げる事が出来る固定法であり、再転位をより防ぎやすい固定だと考え今回の症例において使用した。



<図4>



<図5>

V. 結果

症例1：受傷より2日目、前日整復した患部を超音波観察装置にて観察したところ、再転位は確認できなかった。疼痛は前日より減少していたが腫脹は増悪していた。受傷当日には存在しなかった皮下出血斑が出現した。受傷7日後より軽擦による皮下出血斑の除去を行った。

受傷より14日目、疼痛減弱し、手関節の屈曲拘縮が見られた。両側の副子を除去し手関節を上下に動かす関節モビライゼーションを行い、手指の運動指導を行った。

受傷より16日目、さらに疼痛減弱し提肘の必要がなくなり三角巾を除去した。また背側の圧痛が消失した為、背側の副子を除去した。

受傷より38日目、患部の圧痛、疼痛が完全に消失したため、掌側の副子を除去し包帯固定を除去した。関節拘縮が無いことを確認して競技に復帰した。

VI. 考察

左橈骨遠位端部骨端線離開屈曲型の症例があり徒手整復し固定を行った。前腕部の負傷において柔道整復では以前より簾固定を用いることがあるが、古来より伝わる竹岡式と呼ばれる固定において腫脹が増悪した際に圧を逃がせるという発想を得て改良した、独自に考案した厚紙副子を使用する4点固定法により再転位は起こらずコンパートメント症候群のリスクを下げることもでき、施術期間は38日間での治癒となった。橈骨遠位端部骨端線離開伸展型の場合3～4週の固定を行うが(全国柔道整復学校協会,2011)、屈曲型においては動揺性があるのでより長期の固定を行い、その後関節拘縮などのリハビリを行うので、38日間での競技復帰は比較的早期の治癒であった。本症例では大きな転位があったが若年者であった為、自家矯正に期待ができた。皮下出血斑が見られたが受傷より数日経過して減弱傾向になった。これは腫脹が逃がせる固定法と軽擦によるものであったと推察できる。また関節拘縮に対して早期の関節の自動運動、関節モビライゼーションを積極的に行ったのが良好な施術成績に結び付いたと考えられる。

また今回の症例では転位が見られた為、捻挫と誤認することは無かった。若木骨折など転位が軽度であった場合、視診だけでは判断できない可能性があり直接患部に触れての限局性圧痛、または、軋轢音や変形の触知を確認することが見落とさない為に重要である。触診により橈骨遠位端部の限局性圧痛が見られたら超音波画像観察装置により評価し、医師と連携を取りつつ適切な固定や施術を行っていくことが適切な処置である。

本固定法はより確実な関節固定を行いながらも、急性期の腫脹に対してコンパートメント症候群を予防できる固定法であるので、本症例以外の捻挫や骨折などの症例にも有効な固定であると考えられる。これから、他症例においても追証しデータを取りながら今後の研究を行っていききたい。

VII. 結語

1. 厚紙副子を使用した4点固定は確実な固定と、腫脹に対して有効であった。
2. 前腕部関節部付近の症例は、捻挫と誤認する可能性があるため超音波観察を行い、XP検査も行うことが望ましい。
3. 本固定は手関節の捻挫、colles骨折などにも使用できるので、よりデータを増やし今後の研究を行っていききたい。

安東鉄男副会長八段昇段祝賀会

令和5年9月23日(土)臼杵市に於いて安東鉄男副会長の柔道八段昇段祝賀会が300余名のご来賓の出席のもと開催されました。臼杵津久見柔道連盟会長で臼杵市議会議員でもある先生の八段昇段は、県では令和になって初めての快挙であります。

ご来賓には、佐藤樹一郎県知事・中野五郎臼杵市長・衛藤征士郎衆議院議員・衛藤晟一参議院議員・古庄玄知参議院議員・白坂亜紀参議院議員・長尾淳彦日整会長の出席もあり、盛大に行われました。益々の精進とご活躍をご祈念申し上げます。本当におめでとうございます。



安東鉄男副会長挨拶



参加会員



演武

野田光広副会長大分県知事表彰

令和5年11月3日(金)レンブラントホテル大分にて大分県知事より大分県社会福祉保健功労者として本会野田副会長が表彰を受賞されました。長年にわたり県民の健康増進のため尽力され、本会の会員のためにも尽力されたことが認められたことはとても素晴らしいことです。おめでとうございます。益々のご活躍をご祈念いたします。



野田光広副会長

特殊詐欺被害防止活動協力事業

理事 加藤 豪

本会理事会で承認された犯罪の起きにくい社会づくりを実現するために大分県警察本部と特殊詐欺被害防止活動の協力事業を立ち上げる次第となった。昨年度2月より県警察担当者と綿密に会合し擦り合わせを行った。本会会員施術所の皆様へ広報啓発として特殊詐欺被害防止オリジナルポスター(尾林大生理事作成)を掲示し各管轄署生活安全課の担当者の訪問と防犯グッズの提供も頂いた。

本事業は九州の公益社団柔道整復師会では初の協力事業となり本会も県防犯事業の一環として社会貢献できる次第となった。また令和5年12月19日(火)には杵築日出警察署にて本会会長江崎博明が大分県警察より特殊詐欺被害防止活動協力事業として表彰を受けた。本会柔道整復師施術所が県民の皆様や地域の方々への防犯に対しての啓発になる事を願う。



江崎博明会長



感謝状授与式



会場風景



特殊詐欺被害防止ポスター

第19回大分県整骨旗争奪少年柔道大会

柔道委員長 永竿 茂男

令和5年7月30日(日)中津市総合体育館「ダイハツ九州アリーナ」にて、第19回大分県整骨旗争奪少年柔道大会並びに第32回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会予選会が開催された。令和2年より新型コロナウイルスの影響で、たびたび大会の中止や内容の変更等を余儀なくされたが、今回3年ぶりの待ち望んだ通常開催となった。団体戦は県内20道場から17チーム、個人戦は約80人の参加があり、本会全会員の協力のもと盛大に行われた。

まずは、第13回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道「形」競技会に大分県代表として出場する臼杵市柔道連盟少年部の6年生小坂知寛選手、5年生森忠慶選手による「投の形」が披露され、続いて本会の安東鉄男会員八段と森一馬会員三段が「講道館護身術」の演武を行った。

試合は個人戦4～6年生まで各学年でトーナメント戦を行い、各学年の優勝者で構成された5名の県代表選手が選出され、令和5年11月19日(日)に東京の講道館で開催される第32回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会に加藤豪会員監督のもと大分県代表チームとして出場することとなった。

次に団体戦が行われ、熱戦の末、高田少年柔道クラブが見事初優勝し、2位は臼杵市柔道連盟少年部、3位は清練館道場A、森道場Aとなった。

本大会は久しぶりに県内の柔道少年たちの活気で溢れ、私たち会員にとっても喜ばしく大変有意義な大会であった。

※ 全国大会出場 大分県代表チーム

監督 加藤豪会員

先鋒 柳井雄斗(臼杵市柔道連盟少年部)

次鋒 中西惟稀(清練館道場)

中堅 佐藤光(高田少年柔道クラブ)

副将 木津昂牙(大分東地区柔道クラブ)

大将 橋迫心平(錬徳館道場)

「形」監督 森一馬会員

取

小坂知寛(臼杵市柔道連盟少年部)

受

森忠慶(臼杵市柔道連盟少年部)



大会風景



大会風景



初優勝！高田少年柔道クラブ



参加会員



江崎博明会長



県代表選手



開会式風景



安東鉄男 森一馬会員による演武



大会風景

柔道競技救護事業

理事 加藤 豪

令和6年度全国高等学校総合体育大会柔道競技が来年度8月大分県で開催されます。インターハイ柔道競技の救護活動は来年度本会にとっても大きな事業の1つになります。柔道においては全柔連が明確な救護規定を設けており、救護者も規定に則った活動を制約され救護規定及びScience・evidence・complianceに基づいた救護活動を実施できるように事前に救護講習会・県柔道大会への救護派遣を行い、来年度開催に向け大分県柔道連盟と協力し大会の成功へ貢献します。

『柔道競技救護講習会』

令和5年10月7日(土)大分県整骨会館 救護講師 加藤 豪

講習内容

- 1.全柔連安全指導オンデマンド講習
 - 2.一時救命処置
 - 3.頭部外傷
 - 4.頸椎・頸髄損傷
 - 5.締め技での対処
 - 6.止血処置
 - 7.骨折・脱臼・捻挫等の外傷への対処
 - 8.実技形式のロールプレイング
 - 9.救護に必要なもの
 - 10.報告書作成
- 以上の項目で講習を開催

『大分県柔道大会 救護派遣』

- ① 第76回大分県民スポーツ大会 柔道競技
令和5年9月10日(日) サイクルショップコダマ大洲アリーナ 柔道場
救護員 加藤 豪
- ② 令和5年度 大分県高等学校新人柔道競技大会
令和5年10月31日(火)・11月1日(水)レゾナック武道スポーツセンター
救護員 梅崎 孝次 安東 亮 森 一馬
- ③ 令和5年度 第1回大分県中学校柔道一年生交流大会
令和5年12月24日(日)サイクルショップコダマ大洲アリーナ
救護員 加藤 豪
- ④ 令和5年度 第46回全国高等学校柔道選手権大会大分県大会
令和6年1月27日(土)・28日(日)レゾナック武道スポーツセンター
救護員 梅崎 孝次 森 一馬 永竿 茂男

上記日程で大分県柔道連盟より依頼を受け(公社)大分県柔道整復師会より救護者を派遣



講習会の様子



講習会実技指導



森一馬会員



加藤豪会員

第32回
文部科学大臣杯争奪

日整全国少年柔道大会 合同練習会開催

監督 加藤 豪

令和5年9月9日(土)大分県整骨会館2F柔道場にて開催致しました第19回大分県整骨旗争奪少年柔道大会・第32回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会予選会にて優秀な成績を収めた選手・道場・保護者の方にご参加頂き、県内道場のご協力の基合同練習会を3年振りに開催ができました。東京、講道館で行われる本大会に向けて、昨年のベスト8の結果を越えようと選手の皆さんも真剣に稽古に取り組んでいました。

今回の合同練習会に参加頂いた各道場関係者ならびに保護者の皆様へ感謝を申し上げます。

参加道場：臼杵市柔道連盟少年部、清錬館道場
大分東地区柔道クラブ、錬徳館道場



参加者



森一馬監督、加藤豪監督、会長



森政彦柔道委員

文部科学大臣杯争奪第32回日整全国少年柔道大会及び 第13回日整全国少年柔道「形」競技会 報告

理事 加藤 豪

令和5年11月19日(日)講道館にて、団体戦では昨年のベスト8の超える結果とはなりませんでしたが、2回戦で奈良県に僅かな差で負けました。形競技についても68.0点これもDグループでは僅差で予選敗退となりました。

出場選手は柔道の聖地講道館で試合が出来た事や生徒・保護者そして指導者へ対して講道館指導員鮫島元成先生の講話も素晴らしいものでした。成績や結果に囚われず遠方の地で胸を張って頑張った選手の皆さんにはこちらが勇気を頂きました有難うございます。

日整全国少年柔道大会は公益事業と青少年健全育成が主旨で成り立っています。これからも生徒の皆さんに夢や希望が持てるような大会・運営となればと考えています。

おわりに来年度も日整全国少年柔道大会大分県予選へのご多数の参加と日整公益柔道活動にご理解を頂き、今後も道場指導者の方、関係者の皆様、保護者の皆様のご協力を賜れますようお願い申し上げます。

団体戦

監督 加藤 豪 会員

出場選手 先鋒 4年生 柁井雄斗(臼杵) 次鋒 5年生 中西惟稀(清錬館)

中堅 5年生 佐藤光(高田)副将 6年生 木津昂牙(大分東)

大将 6年生 橋迫心平(錬徳館)



「形」 出場選手

試合結果

1回戦 島根—大分 1-2 勝 大分

2回戦 大分—奈良 1-2 勝 奈良

「形」 競技結果 Dグループ 68.0点 予選敗退

監督 森 一馬 会員

出場選手 6年生 取 小坂 知寛(臼杵)

5年生 受 森 忠慶(臼杵)



会場風景



出場選手

“夢”道場だより

— 道 —

大分県中津市 東龍ジュニアクラブ 監督 大村 祐也

中津市 江崎 仁介

東龍ジュニアクラブは東九州龍谷高等学校の柔道場をお借りして高校の柔道部監督をされている大村祐也先生の指揮の下、コーチ数名で指導しています。現在は約17名の少年少女が「明るく!楽しく!元気良く!」をモットーに週三回の練習に取り組んでいます。子供達には柔道を通して、怪我をしない健康な体作りや健やかな精神づくりを重点指導しています。コロナ禍により大会への参加や練習が出来ない時もありましたが今年はクリスマス会などの行事も開催することができ、楽しく練習しています。



低学年の子も練習しています



クリスマス会の様子



元気よく返事をします!

大整会だより

本年度、大整会に初めて参加させていただきました。

我々の職業柄、室内で過ごすことが多いため、広大な自然の中で過ごすことでリフレッシュし、諸先生方より貴重なお話を伺うこともでき、とても有意義な時間を過ごせました。

競技の特性上、審判はプレイヤー自身なので、自分を律し、常に自己責任を問われるスポーツのため、「紳士的な精神を育てるスポーツ」なのだと私は感じます。

未熟な私のゴルフでは、先生方にご迷惑をかけていたかと思えます。しかしどの先生方もそんな素振りは見せず、まさに紳士的でした。

仕事でもゴルフと同様に自分を律し、患者さんや従業員の方々に感謝し、業務を行うことは重要なことかと思えます。

今回の大整会を通し、諸先生方の紳士的なふるまいを学ぶことができました。今後の日常にも活かしていきたいと思えます。

豊後高田市 里見直樹

※追記

大整会では随時メンバーの募集をしています。

私のような初心者でも気持ちよくゴルフできる環境です。

少しでも興味がありましたら共に紳士になりましょう。



第90回 R5.03.26 別府の森GC



第91回 R5.05.28 別府の森GC



第92回 R5.09.18 大分サニーヒル



第93回 R5.10.15 大分中央GC



第94回 R5.11.12 由布高原GC



新入会員紹介

- ①施術所名
- ②住所
- ③電話番号

Run For Dream



か い ゆうたろう
甲 斐 優太郎

- ①大分整骨院
- ②大分市千代町1丁目1-10
- ③097-535-0201



はら こう だい
原 広 大

- ①千華整骨院
- ②大分市森500-2幸ビル101号室
- ③097-565-0658



ひらの あつ ろう
平 野 敦 朗

- ①平野整骨院
- ②別府市南立石八幡町1組
- ③0977-51-4077



やま した ち か
山 下 知 佳

- ①健笑堂スポーツ大分整骨院
- ②大分市明野高尾1丁目6-1
- ③070-5480-0259



ひさ つね かす よし
久 恒 一 義

- ①ひさつね整骨院
- ②中津市中殿469-1
- ③0979-41-0707



さとう たか し
佐 藤 貴 司

- ①重石整骨院
- ②大分市牧1-9-24
- ③097-551-0399



はり みや かつ あき
針 宮 克 顕

- ①かたしま整骨院
- ②大分市片島1-5-2コスモハイツa2-101
- ③097-578-7121



いな がき きみ たか
稲 垣 公 隆

- ①田尻なお接骨院
- ②大分市田尻193-1田尻小川コーポ104
- ③097-500-9022

学生コラム

夢に向かって

大分医学技術専門学校
柔道整復師科 3年

阿部 愛未



私は今まで様々なスポーツや運動を経験しましたが、その中で友人や周りの人々が怪我をしてきたのを見てきました。そこから私が怪我や体を傷めた人を治したいと思う気持ちが強くなり、高校生の時に柔道整復師という職業を知って令和3年4月に大分医学技術専門学校柔道整復師科に入学しました。

そして、2年生の6月から「かとう整骨院」で研修を始め、加藤豪院長先生(公益社団法人大分県 柔道整復師会・理事)と出会えた事が私の人生に大きな影響を与えました。それまでの私は柔道整復師や整骨院という職業に対するイメージや考え方が正直曖昧で分別なども出来ていない状態でしたが、実際に院長先生と一緒に働く中で骨折や脱臼をした患者さんが多く来院する事に衝撃を受けました。検査を行い整復・固定までを迅速かつ的確に施術し対応され、初診から完治までしっかり診るといふ本来柔道整復師のあるべき姿に感銘を受けました。

学校での勉強と整骨院での研修をしていくと、私自身の中で次第に柔道整復師に対する考え方や気持ちが変わっていき、かとう整骨院で研修して院長先生のような柔道整復師になりたいという目標が出来ました。アルバイトから整骨院の研修に変更したこの2年間は他のアルバイトでは経験出来ない「かけがえのない私の宝物」になりましたし、在校生の皆さんにも日頃から整骨院での研修をお勧めしたいとも思います。

私が3年間、大分医学技術専門学校に無事通えたのは学校の先生方・院長先生・院の先生・スタッフさん・そして患者さん・家族・友人など多くの方々の支えがあったからだと思います。

まだまだ未熟な私ですがお世話になった方々への感謝の気持ちや日頃から謙虚さを忘れずにこれからも柔道整復の研鑽をして参ります。

現在、私達3年生は3月の国家試験に向けて勉強に励んでいます。この3年間で実を結ぶように最後まで諦めず努力をしてクラス全員での合格を目指します。

そして私自身は社会や地域に貢献し、日頃得た事を患者さんに還元し喜ばれ愛されるような柔道整復師になれるように頑張ります。



公益社団法人 大分県柔道整復師会

令和6年3月 発行



〒870-0921

大分県大分市萩原4-8-58 大分県整骨会館

TEL 097-503-3334 FAX 097-503-3338

https://www.seikotsu-oita.jp/

発行者 江崎 博明

印刷 株式会社サンデザイン

TEL 0977-85-8626

【整骨“夢”おいたは平成22年創刊号より最新号までホームページにて閲覧できます】

編集後記

今年には衝撃的な能登半島地震のニュースに始まり、羽田空港航空機事故、相次ぐ火事など痛ましい事件事故自然災害が起こり。被害にあわれた方々には一日も早い平穏を、お亡くなりになられた方にはご冥福を心よりお祈りいたします。

しかし、2024年は辰年です昇り竜のごとく変革から躍進の年となってほしいと願います。柔道整復師としましては17元年となります。本会のメール普及率99%となり会報の電子化、保険証のオンライン資格確認も9月から始まります。

急速なIT化に不安があるかと思いますが、慣れてしまえばこんなに便利なことはないと思います。本会も様々な変更を早い段階で皆様に発信できるよう精進いたします。FACEBOOK・インスタグラムなど新しいSNSでも情報発信していますので登録といいね!をお願いします。

今号は15号ということでプチリニューアルいたしました。スタイリッシュな感じに見えたら幸いです。最後に皆様の更なるご健勝をご祈念して編集後記を締めます。ありがとうございました。

(広報部長 尾林 大生)

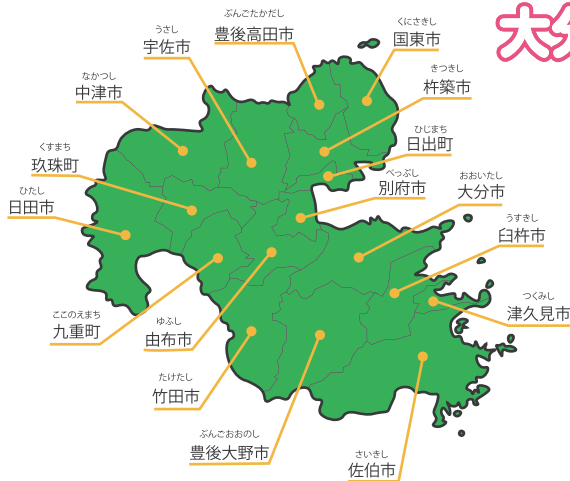
〈表紙の解説〉

今回も表紙は1年間のダイジェストとして写真で振り返りました。

公益社団法人 大分県柔道整復師会 会員施術所

(170箇所)

※令和6年1月31日現在



国東市 (3)	
整骨・接骨院名	電話番号
加藤整骨院	0978-72-4298
さこの整骨院	0978-67-0019
やすまづ整骨院	0978-72-4266

別府市 (35)	
整骨・接骨院名	電話番号
あべしょう整骨院	0977-26-3518
あんどう整骨院	0977-75-9777
いやしの樹整骨院	0977-70-9520
衛藤整骨院	0977-67-2920
十八番接骨院	0977-26-0020
尾林整骨院	0977-27-3150
かがやき整骨院	0977-27-5112
清田整骨院	0977-25-6222
くどう鍼灸接骨院	0977-24-3218
クロバー整骨院あさひ	0977-75-9671
クロバー整骨院かわの	0977-21-7799
こんどう整骨院	0977-24-9111
末広整骨院	0977-24-9430
杉田整骨院	0977-67-3663
接骨院大別府清水	0977-23-7107
竹野整骨院	0977-66-5161
帯刀接骨院	0977-21-8951
たんぼぼ整骨院	0977-67-3040
土谷接骨院	0977-21-6452
つねまつ整骨院	0977-25-7675
中島整骨院	0977-85-8300
仲町整骨院	0977-66-3933
西整骨院	0977-22-0743
にしむらほりきゅう整骨院	0977-22-6347
はなだ整骨院	0977-23-5737
浜脇整骨院	0977-22-7856
平野整骨院	0977-51-4077
福本整骨院	0977-23-1788
ふじや整骨院	0977-22-6506
別府つるみ整骨院	0977-26-2380
裕大整骨院	0977-26-1275
山内整骨院	0977-25-5580
わたなべ整骨院	0977-23-1132
渡辺整骨院	0977-67-4275
渡辺整骨院	0977-67-8538

豊後高田市 (3)	
整骨・接骨院名	電話番号
さかい整骨院	0978-24-3995
さとみ整骨院	0978-22-3523
たかだ整骨院	0978-22-1710

中津市 (9)	
整骨・接骨院名	電話番号
あおば整骨院	0979-64-6074
いき整骨院	0979-53-9517
江崎整骨院	0979-24-6978
奥田整骨院	0979-22-1937
さやもと整骨院	0979-77-5899
整骨院たいよう	0979-64-7880
東洋療法整骨院	0979-24-3291
なかつ整骨院	0979-53-9242
ひさつね整骨院	0979-41-0707

杵築市 (4)		日出町 (3)	
整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
江藤接骨院	0978-63-2051	えとう整骨院	0977-72-3011
住吉整骨院	0978-62-3164	かとう整骨院	0977-75-9655
田辺整骨院	0978-63-2377	河野整骨院	0977-72-2319
森整骨院	0978-62-5341		

大分市 (70)			
整骨・接骨院名	電話番号	整骨・接骨院名	電話番号
あおき整骨院	097-578-8424	たきぐち整骨院	097-578-9371
あけの整骨院	097-558-2216	田尻なお接骨院	097-500-9022
あべ整骨院	097-545-6459	調和整骨院 南大分	097-546-4970
安部整骨院	097-538-0369	つめくさ整骨院	080-4698-2898
飯田整骨院	097-543-5173	長野整骨院	097-546-3930
いまごころ整骨院	097-558-5885	長浜みらい整骨院	097-538-3567
今井慶整骨院	097-532-0686	中村整骨院	097-567-5255
上野の森整骨院	097-544-6070	中村整骨院	097-523-0230
うえもと整骨院	097-576-8587	なごみ整骨院	097-574-5421
王子整骨院	097-533-8188	なのはな鍼灸整骨院	097-552-9699
大分いきいき整骨院	097-500-7058	なみつぎ鍼灸整骨院	097-578-7300
大分ごとう整骨院	097-535-0600	のぞみ整骨院	097-574-9915
大分整骨院	097-535-0201	野田接骨院	097-567-5680
おおざい整骨院	097-592-5050	白整骨院	097-597-1125
おおみち整骨院	097-573-6446	はまなか整骨院	097-507-6952
かえで整骨院	097-592-5435	針宮接骨院	097-558-6030
春日浦整骨院	097-533-2777	判田整骨院	097-511-8963
かたしま整骨院	097-578-7121	ひだまり整骨院	097-547-9728
活 整骨院	097-593-1212	ひびの整骨院	097-576-8107
国広整骨院	097-541-4122	ひらた整骨院	097-507-2104
くらしの接骨院	097-507-6889	へつぎ整骨院	097-597-5722
健笑堂か鍼灸接骨院	097-549-1010	堀接骨院	097-575-2356
健笑堂スポーツ大分整骨院	070-5480-0259	まる整骨院	097-574-9100
健笑堂接骨院	097-522-4922	みんなの鍼灸整骨院	097-574-5942
健笑堂はりきゅう整骨院	097-574-8252	むなかた整骨院	097-542-7055
ココロ整骨院	097-574-6668	ゆきまる鍼灸整骨院	097-574-9333
坂本接骨院	097-544-3627	ゆふらぎ接骨院	097-537-2531
さくら接骨院	080-9066-2242	よつば整骨院	097-529-7922
ささき整骨院	097-547-9877	若草整骨院	097-574-7755
三光整骨院	097-578-7735	わさだ甲斐整骨院	097-541-2119
しおい整骨院	097-542-5333		
重石整骨院	097-551-0399		
清水整骨院	097-547-8333		
首藤整骨院	097-544-2866		
鍼灸整骨院Yutaka	097-573-6661		
すぎた整骨院	097-510-5340		
杉田整骨院	097-500-9137		
整骨院 てあてん	097-560-2277		
千華整骨院	097-565-0658		

宇佐市 (9)	
整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0978-33-3770
いもと鍼灸整骨院	0978-32-5581
宇佐整骨院	0978-33-1961
えきずい鍼灸整骨院	0978-38-7323
さとう整骨院	0978-37-2872
ながさお整骨院	0978-44-1337
名倉堂長岡整骨院	0978-38-5866
南整骨院	0978-38-0446
吉成整骨院	0978-33-3301

日田市 (9)	
整骨・接骨院名	電話番号
いけなが整骨院	0973-28-5716
いわき整骨院	0973-28-6900
きよた整骨院	0973-24-7232
たかはし整骨院	0973-22-9898
西邑整骨院	0973-22-4345
日田やどり木整骨院	0973-30-6465
ひのくま中央整骨院	0973-22-2013
星の花整骨院	0973-25-1800
森山整骨院	0973-22-1151

玖珠町 (1)	
整骨・接骨院名	電話番号
くす整骨院	0973-77-2522

竹田市 (3)	
整骨・接骨院名	電話番号
いりえ整骨院	0974-64-4300
宇都宮整骨院	0974-63-0217
千房整骨院	0974-62-2110

豊後大野市 (2)	
整骨・接骨院名	電話番号
杉田整骨院	0974-22-6987
森 整骨院	0974-22-5123

津久見市 (2)	
整骨・接骨院名	電話番号
堅田整骨院	0972-82-8763
つくみ倉整骨院	0972-83-5656

臼杵市 (4)	
整骨・接骨院名	電話番号
安東整骨院	0974-32-3282
今村鍼灸整骨院	0972-63-3350
うすき八町整骨院	0972-62-5525
三愛鍼灸整骨院	0974-32-7353

佐伯市 (7)	
整骨・接骨院名	電話番号
鎌田整骨院	0972-22-0684
くみに整骨院	0972-22-5563
さいき倉整骨院	0972-28-5510
野田整骨院	0972-23-6834
藤本整骨院	0972-42-1275
水沼整骨院	0972-24-8011
やよい整骨院	0972-46-1753

由布市 (6)	
整骨・接骨院名	電話番号
阿部整骨院	097-582-0881
えとう鍼灸接骨院	097-583-5570
おきた整骨院	097-583-5430
杉田整骨院	0977-84-2803
野田整骨院	097-583-0515
狭間整骨院	097-583-4970